

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公開番号】特開 2004-141683 (P2004-141683A)
 【公開日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-019
 【出願番号】特願 2004-44120 (P2004-44120)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作にもとづいて遊技を行うとともに、特定遊技状態とするための所定の条件が成立した場合に遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

遊技機への電力供給が停止しても所定期間は内容を保持することが可能な変動データ記憶手段と、

所定電位の電源の電圧を監視し、電源断が発生すると電圧低下信号を出力する電源監視手段と、

前記特定遊技状態とするか否かを定めるための特定遊技状態決定用カウンタと、

前記特定遊技状態決定用カウンタの初期値を決定するための初期値決定用カウンタと、

所定の数値範囲内で特定遊技状態決定用カウンタの値を更新する特定遊技状態決定用カウンタ更新手段と、

前記所定の数値範囲内で、前記特定遊技状態決定用カウンタの値の更新周期と異なる更新周期で前記初期値決定用カウンタの値を更新する初期値決定用カウンタ更新手段と、

前記特定遊技状態決定用カウンタの値が、保存されている初期値になったことを条件に前記初期値決定用カウンタの値を抽出し、抽出した値を前記特定遊技状態決定用カウンタに初期値として設定するとともに抽出した値を保存する初期値更新手段と、

前記電圧低下信号が出力されたことにもとづいて、前記特定遊技状態決定用カウンタおよび前記初期値決定用カウンタの値を、前記変動データ記憶手段に保存するための処理を含む電力供給停止時処理を行う電力供給停止時処理実行手段と、

遊技機に対して電力供給が開始されたときに、前記変動データ記憶手段に保存されていた前記特定遊技状態決定用カウンタおよび前記初期値決定用カウンタの値から、前記特定遊技状態決定用カウンタおよび前記初期値決定用カウンタの更新を継続させる復旧手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

定期的に発生するタイマ割込の発生に応じて、次にタイマ割込が発生するまでの間に、遊技制御を行う遊技制御処理を実行する遊技制御手段を備え、

初期値決定用カウンタ更新手段は、少なくとも、前記遊技制御処理の実行が終了した後、プログラムにおける次にタイマ割込が発生するまでの無限ループで、初期値決定用カウ

ンタの値を更新する

請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

初期値決定用カウンタ更新手段は、初期値決定用カウンタの値を遊技制御処理中でも更新する

請求項 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

特別遊技状態とするための所定の条件が成立したら遊技者にさらに有利な特別遊技状態に制御可能であり、

前記特別遊技状態とするか否かを決定するための特別遊技状態決定用カウンタと、

特定遊技状態決定用カウンタのカウント値が n (n : 自然数) 周すると、前記特別遊技状態決定用カウンタの値を、あらかじめ決められている数値範囲内で更新するとともに、該特別遊技状態決定用カウンタの値が M (M : 自然数) 周すると該特別遊技状態決定用カウンタの初期値を変更する特別遊技状態決定用カウンタ更新手段とを備えた

請求項 1 から請求項 3 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

特別遊技状態決定用カウンタの初期値を決めるための特別遊技用初期値決定用カウンタと、

前記特別遊技状態決定用カウンタの値が取りうる数値範囲内で、前記特別遊技状態決定用カウンタの値の更新周期と異なる更新周期で前記特別遊技用初期値決定用カウンタの値を更新する特別遊技用初期値決定用カウンタ更新手段とを備えた

請求項 4 記載の遊技機。

【請求項 6】

定期的に発生するタイマ割込の発生に応じて、次にタイマ割込が発生するまでの間に、遊技制御を行う遊技制御処理を実行する遊技制御手段を備え、

特別遊技用初期値決定用カウンタ更新手段は、前記遊技制御処理の実行が終了した後、プログラムにおける次にタイマ割込が発生するまでの無限ループで、特別遊技用初期値決定用カウンタを更新する

請求項 5 記載の遊技機。

【請求項 7】

特別遊技用初期値決定用カウンタ更新手段は、特別遊技用初期値決定用カウンタを遊技制御処理中でも更新する

請求項 6 記載の遊技機。

【請求項 8】

電力供給停止時処理実行手段は、電力供給停止時処理で、特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの値を変動データ記憶手段に保存するための処理を行い、

復旧手段は、前記変動データ記憶手段に保存されていた前記特別遊技状態決定用カウンタおよび前記特別遊技用初期値決定用カウンタの値から、前記特別遊技状態決定用カウンタおよび前記特別遊技用初期値決定用カウンタの更新を継続させる

請求項 5 から請求項 7 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【請求項 9】

識別情報を可変表示可能な可変表示部における識別情報の表示結果が特定遊技状態とするための所定の態様になった場合に特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

所定のカウンタの値にもとづいて識別情報の表示結果を決定する表示結果決定手段を備え、

前記表示結果決定手段は、特別遊技状態決定用カウンタを、特定遊技状態となる場合の識別情報の態様を決定するための前記カウンタとして使用する

請求項 4 から請求項 8 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【請求項 10】

特定遊技状態決定用カウンタの値の更新範囲と特別遊技状態決定用カウンタの値の更新範囲とは互いに素である

請求項 4 から請求項 9 のうちのいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明による遊技機は、遊技者の操作にもとづいて遊技を行うとともに、特定遊技状態とするための所定の条件が成立した場合に遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技機への電力供給が停止しても所定期間は内容を保持することが可能な変動データ記憶手段と、所定電位の電源の電圧を監視し、電源断が発生すると電圧低下信号を出力する電源監視手段と、特定遊技状態とするか否かを定めるための特定遊技状態決定用カウンタと、特定遊技状態決定用カウンタの初期値を決定するための初期値決定用カウンタと、所定の数値範囲内で特定遊技状態決定用カウンタの値を更新する特定遊技状態決定用カウンタ更新手段と、所定の数値範囲内で、特定遊技状態決定用カウンタの値の更新周期と異なる更新周期で初期値決定用カウンタの値を更新する初期値決定用カウンタ更新手段と、特定遊技状態決定用カウンタの値が、保存されている初期値になったことを条件に初期値決定用カウンタの値を抽出し、抽出した値を特定遊技状態決定用カウンタに初期値として設定するとともに抽出した値を保存する初期値更新手段と、電圧低下信号が出力されたことにもとづいて、特定遊技状態決定用カウンタの値と初期値決定用カウンタの値とを、変動データ記憶手段に保存するための処理を含む電力供給停止時処理を行う電力供給停止時処理実行手段と、遊技機に対して電力供給が開始されたときに、変動データ記憶手段に保存されていた特定遊技状態決定用カウンタおよび初期値決定用カウンタの値から、特定遊技状態決定用カウンタおよび初期値決定用カウンタの更新を継続させる復旧手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

電力供給停止時処理実行手段が、電力供給停止時処理で、特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの値を変動データ記憶手段に保存するための処理を行い、復旧手段が、変動データ記憶手段に保存されていた特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの値から、特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの更新を継続させるように構成されていてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項 1 記載の発明では、遊技機が、特定遊技状態決定用カウンタの値が、保存されている初期値になったことを条件に初期値決定用カウンタの値を抽出し、抽出した値を特定遊技状態決定用カウンタに初期値として設定し、電圧低下信号が出力されたことにもとづいて、特定遊技状態決定用カウンタの値と初期値決定用カウンタの値とを、変動データ記憶手段に保存するための処理を含む電力供給停止時処理を行い、遊技機に対して電力供給が開始されたときに、変動データ記憶手段に保存されていた特定遊技状態決定用カウンタ

および初期値決定用カウンタの値から、特定遊技状態決定用カウンタおよび初期値決定用カウンタの更新を継続させるように構成されているので、所定の起動タイミングに同期して遊技制御手段から出力される各種信号を観測しても、特定遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを推測することはできなくなり、その結果、外部から特定遊技状態を不正に発生させるための信号を与えることができなくなって不正遊技行為を効果的に防止でき、さらに、電源断等からの復旧時に特定遊技状態決定用カウンタの値は電源断時の値から継続してカウントアップが再開されるのに対して、仮に、遊技機に不正基板が接続されたとしても、不正基板上の回路動作が電源断時の状態から継続するということは考えられず、不測の電源断等からの復旧時に、不正基板等を用いて特定遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを予測することがより困難になる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

請求項2記載の発明では、初期値決定用カウンタ更新手段が、少なくとも、遊技制御処理の実行が終了した後、プログラムにおける次にタイマ割込が発生するまでの無限ループで、初期値決定用カウンタの値を更新するように構成されているので、特定遊技状態決定用カウンタの初期値のランダム性が向上し、その結果、特定遊技状態を狙った遊技を行うにくくすることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

請求項8記載の発明では、電力供給停止時処理実行手段が、電力供給停止時処理で、特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの値を変動データ記憶手段に保存するための処理を行い、復旧手段が、変動データ記憶手段に保存されていた特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの値から、特別遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技用初期値決定用カウンタの更新を継続させるように構成したので、不測の電源断等からの復旧時に、不正基板等を用いて特別遊技判定用の数値が判定値と一致するタイミングを予測することがより困難になる。